令和3年度　学力向上を図るための全体計画

中23　練馬区立南が丘中学校

〈関係法規・法的根拠〉

日本国憲法、教育基本法、学校教育法、学習指導要領等

〈都教育目標〉

子供たちが、知性、感性、道徳心や体力をはぐくみ、人間性豊かに成長することを願う

〈区教育目標〉みどりの風吹くまちビジョン

児童生徒一人ひとりに応じた、きめ細かい指導や支援により、夢や目標をもち、困難を乗り越える力を備えた子どもを育成する。

〈学校教育目標〉

人権尊重の精神を尊び、生徒一人ひとりの個性を伸ばし、心身ともに健康で、知性と感性に富み、人間性豊かな生徒の育成を図る。また、生涯を通じて自ら学ぶ意欲とたくましく生きる力を育てる。

・進んで学び、深く考え、積極的に行動する人
・思いやりの心を持ち、互いに協力する人
・心身ともに健康で創造力のある人

〈保護者・地域社会の実態〉

学校への関心や期待が高く、協力的であり、PTA活動も活発である

〈目指す学校像〉

・地域、保護者から愛され、信頼される学校
・心豊かな生徒を育てる学校
・生徒の学習意欲を引き出し、主体的に活動できる生徒を育てる学校

〈学習に関する学校経営方針〉

(1) 確かな学力の定着につながる授業の実施

・生徒が「わかった・できた」と感じる、ねらいの明確な分かりやすい授業を行う。
・課題解決型の学習の推進と適切な評価により、生徒の学習意欲を高める。
・朝の読書活動を中心に、全教科で言語活動を重視した授業を進める。
・習熟度別指導、長期休業中や放課後の補充教室など、個に応じた学習を充実させる。

(2) 規範意識の高い、心豊かな生徒の育成

・日頃から教師と生徒の人間的なつながりを深め、何でも話せる関係性を築く。
・「あじみこし」(あ:挨拶、じ:時間、み:身なり、こ:言葉遣い、し:姿勢)運動を徹底し、基本的な生活習慣を定着させ、規範意識を高める。

〈教育課程上の工夫〉・

・「朝読書」の実施
・放課後や、夏季休業中の補充授業の充実
・数学科、英語科の習熟度別指導

〈小中一貫教育の視点〉

・意欲や「思考力・判断力・表現力」を高める授業
・英語科によるカリキュラム作成および授業研究
・「9年間の学びの連続性」を意識した授業改善

〈各教科の指導の重点〉

・主体的・対話的で深い学びの実現を目指し、指導方法の工夫改善に努める。
・新学習指導要領の趣旨を生かした評価方法を実施し、生徒自らの学ぶ意欲を高める。

〈評価活動の工夫〉

・毎学期、評価計画を作成する。
・評価計画に基づき、定期考査のみに偏らない適切な評価を行う

「総合的な学習の時間」の重点 ・・・・・・	自らの興味関心を生かし、他の生徒と協同しながら課題を追究していく中で「生きる力」を養う。
「特別活動の指導」の重点 ・・・・・・・・・・	学級活動においては、関わり合い・助け合い・認め合う学級づくりに努め、生徒会活動においては、自主的・自律的に行動する態度を育てる。
「道徳教育の指導」の重点 ・・・・・・・・・・	特別の教科 道徳の授業を充実させ、道徳的な心情・判断力を高め、実践意欲と態度を養う。
「生活指導の指導」の重点 ・・・・・・・・・・	よりよい生き方や円滑な人間関係づくりを図り、不登校やいじめの防止・早期発見に努める。教育相談を重視し、SCや特別支援教室専門員、巡回指導教員などを交えた適応推進委員会を充実させる。家庭や地域社会との連携を図り、生徒の健全育成に努める。
「人権教育の指導」の重点 ・・・・・・・・・・	人権を尊重する姿勢と実践力を備えた生徒を育成し、自分の意思を適切に表現できるようにする。
「進路指導の指導」の重点 ・・・・・・・・・・	ガイダンスの機能を充実させ、一人一人の生徒が自主的に進路を選択し、意思決定ができるよう、指導・援助に努める。

〈本校の授業改善に向けた視点〉	ア　指導内容・指導方法の工夫 ・・・・・・・・	基礎学力の定着と応用力の向上につながる指導内容としていく。課題解決型の学習、小集団による学習、ICT活用による学習を積極的に取り入れる。
	イ　教育課程編成上の工夫 ・・・・・・・・・・・	全学年「朝読書」を取り入れ、全教科での言語活動充実の基盤をつくる。
	ウ　校内における研究や研修の工夫 ・・・ ※「小中一貫教育の視点」を含む	小中一貫教育研究発表グループ校として南が丘小学校、南田中小学校と合同で、カリキュラム作成および授業改善を目的とする研究授業や研修会を実施する。
	エ　評価活動の工夫 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・	各教科の年間指導計画の概要と評価計画(各学期のもの)を作成し、保護者に配布する。
	オ　家庭や地域社会との連携の工夫 ・・・	保護者には家庭学習や睡眠時間など生活リズムの大切さを伝え、家庭との密な連携を図る。
	改善策の検証 ・・・	学校関係者評価や保護者アンケート、生徒授業アンケート等により、改善部分の効果を測定する。

基礎基本の徹底

生徒に学ぶ意欲をもたせ、生涯にわたって学び続けるための基礎的・基本的な知識や技能を確実に身に付けさせる。さらにその活用を通して思考力・判断力・表現力を養う。また、生徒が自主的に学ぶ機会を充実させ、よりよく問題を解決し、たくましく生きる力を伸ばす教育を進める。

学ぶ意欲
学び方
知識・技能
思考力・判断力・表現力
課題発見力
問題解決力

→ **確かな学力**